昭和28年（1953年）10月20日（火曜日）　第959号
磐　城　日　日
「除月曜」第三種郵便物認可　運輸省特別扱承認第684号
日刊　昭和25年10月8日許

磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
編集兼発行人　長瀬壽

募集
業務部員　若干名
◇希望者は履歴書持參の事
磐城日日新聞社

記念音樂會始め
三百点の書畫展示
廿三日一小の八十周年行事

小名浜町第一小學校創立八十周年記念式典は廿三日午前十時から全校講堂に関係者多数參席して盛大に開かれるが、全校ではこれの一環記念行事として、縣下各小学校五十校及び町内小中校、全校などの児童及び生徒の圖畫、習字などの作品約三百余点を廿一日から廿三日まで展示することになる、また廿二日午前九時から記念音樂会兼新校歌披露会を行う　披露される新校歌は草野心平氏作詞、伊藤翁介氏作曲になるもので、歌詞は次の通り

一、靑き空　紺碧の海
海鳥の　群は飛びかう
幸多き　潮香の港
とこにして　學び舍ぞ
たつ
われらが母校　小名浜
小名濱
おお第一

二、わが夢の　ならがり
こそは
水平の　積乱雲か
どうどうの　音もとだえず
波たつや　若き胸うち
われらが母校　小名浜
小名浜
おお第一

三、われらはみな　倶に
たずさえ
善求め眞理を　きわむ
かがやきの　海原の如
未來こそ　强くたくま
し
われらが母校　小名浜
小名浜
おお第一

市制準備委員協議会

鹿島合併で急ピッチ市制施行を目前に控えた小名浜町では十九日午後一時から役場町長室に市制施行準備委員会（委員長西ﾀ猛氏）を開いて市制施行に山積する今後の問題について協議した

盛大に開館式
―錦公民館新装成り―
―落成式も同時擧行―

錦町公民館の増築落成並開館披露式は十八日午後一時より新装なつた公民館に高木町長、山崎議長、縣教委石城出張所長、星縣議、山縣呉羽化学錦工場長等各官民代表約百余名を招待して挙行した

先ず高木町長の挨拶があつてのち菅波教育長の工事經過報告、建築工事施行者丸星土建工業所星初太郎氏に記念品と感謝状を贈つて表彰　また公民館建築の功勞者呉羽化学工業株式会社　錦工場（工場長山縣孝雄氏）、錦町婦人会（会長赤津貞子氏）にも各々記念品と感謝状を贈つて表彰終つて元東京帝國大学經濟学部長、經濟学博士、土方成美先生の「時局と經濟について」の講演会があつた

同公民館は去る六月五日入札の結果同町江栗丸星土建工業所星初太郎氏が落札して六月上旬工事に着手九月七日引渡しを完了したもので

總坪一二五坪（舊校舍移轉分一〇〇、増築分二五坪）で大集会室、小集会室、圖書室、調理室、使丁室、掃除用具室から成る理想的施設を整え

移轉費（給食室分を含む）一〇〇万円、増改築費一九〇萬六千円、永滿工事費一四萬四千二百八十円、電氣工事費四万五千圓　總工費三百十万圓で星氏の犧牲的工事に完成したもの

また調理室は婦人会が自主的に水戸、平など各地を視察見聞した尊い体驗が実を結び、その設計は婦人會自慢の一つである

底曳轉換協議会

底曳漁業の資源枯渇の対策として行う、中型底曳船の整理轉換に關する協議会は、二十一日午後一時から平市縣水産事務所に於いて關係者出席で開かれ、整理轉換の進展策について協議することになつた

青年学級の運營協議

廿日湯本

湯本町公民館教養部では來る二十日午後六時三十分より十一月の行事、青年学級はいかに運營すべきか、その他について協議する

印刷
御用命ハ
電219

愛町運動提唱
＝買い物は小名浜で＝

小名川　松田生

人口三萬、小名浜の成長発展は素晴しい。次の市制実施は須賀川か？、小名浜か？そこで私共町民が眞劍に考えねばならぬ事は、單に人口や地域の擴大に空轉することなく、形の成長に伴う内容の充実である、小名濱を培い育ぐむ者は私共町民一人である

私共は郷里を愛しこの町の成長を切に願う故に町政の運営を豊かにし、町政の運営を好転させることに協力しようと思う、そのためには私共は眞に小名浜町民であると云う眞髄に徹し、同時に、小名浜町民であると云う誇りを失つてはならない。そこに小名浜の生成発展があり、内容外觀共に眞に誇り得る大小名浜の姿もそこにある

私共は見出し得ると信じている

かつて須賀川の商店街が一丸となつて「愛町運動」を起した事を聞いている。即ちK市の大都市に近接する須賀川町は商店街の顧客をK市に吸收せらるるため、との運動を起した譯であるが、當小名浜町もTを控え須賀川町と同様の條件に置かれている、私共は深く思いを此處に致さなければならない、何も私は個人の自由意志を束縛するものではないが、小名浜を愛し小名浜の發展を願う心から此の点を眞劍に考えてみたいと思う

町の發展の要素には勿論種々あろう、だが商店街が發展するかしないかで小名浜町の伸展に至大の關係のあることは申す迄もない、商店街を發展せしむるか否かは一にかかつて私共町民の双肩にある、私共はそこで＝買物は小名浜で＝の推進を提唱し聲を大にして叫びたい、勿論小名浜町で求め得られぬものもあろうが日常必需品は十二分小名浜で間に合うはずである

私の友人に、何でもかでも、三越でなければ承知し得ぬ奇人？があつたが、此の友人が仙台支店で子供の靴を買つてサイズが合わず、半年後出仙して取替え方を申出たところ、喜んで其の意を容れてくれた現狀を私も見て感心したが、とうした点が友人に安心感を與えたものと思われる

商業道德と云う言葉があるが、要はお客のためになつての商いではないかと思う、顧客を小名浜に常に引きつけて置く要諦は安心して信用して買い得る商店街の育成であり、私共の運動が實を結ぶためにこの点は商店街に望みたい

私は＝買物は小名浜で＝を必ず實践、娘稼入りの調度品も小名浜で求め、亡母の石碑も小名浜に依頼して同志を求めているが、商工界などが中心となつて受入態勢の万全を期すと同時に、この種の運動を展開される事も望ましいと思つている

鹿島の合併に伴い事実縣下の大小名浜となつたわが町は、正に自給自足の圏内におかれている小名浜町にとつて、何を苦しんで隣りの麥飯を頬張る必要があろうか

小名浜を育てるものは小名浜町民であり、小名浜發展の動力となるのも又小名浜町民である、私は小名浜を愛するが故に、多少の異論はあつたとしても「買物は小名浜で」を提唱し、聲を大にして叫ぶ

絶讃好評
18日ヨリ20日マデ同時上映
前后一擧大公開!!
興味津々波らん万丈の傑作連續時代劇
朝やけ富士大会
市川右・三浦光・喜多川千・月丘夢
ジャングル・ジム
巨象鐵人の襲撃　ワイズミューラー
小名浜　キンビ館　電六七〇

小名浜高等學校及びその前身校の卒業生に告ぐ

大變永い間御無沙汰いたして居ります会員の皆々樣には御元氣で御活動のことゝ存じます。さて今般左記に依り同窓会を開催いたしますからふるつて御參加下さいますよう御案内申上げます　猶近隣の会員諸氏にも御通知下さいまして多數御參会下さい

記

一、日時　十月廿五日（日）12時30分
一、場所　母校講堂
一、会費　五十円
一、餘興　總会終了後金美館にて映画観覧（招待）

昭和廿八年十月二十日
福島縣立小名浜高等學校
同窓会長　草野庄平

同窓会員各位

百発百中ズバリと不思議に当る
神秘の哲人・奇蹟の明断
中村素堂先生　來る
あなたの過去と将来が名前を聞いただけで即座にピタリと判る!!
姓名學の中に新しい分野を創りだした中村素堂先生はこれを〝言靈〟姓名判断と名付けてズバリと恐しい位各人の禍福を百発百中明断するのでいま世界の不思議として驚異の旋風を巻き起している。
その中村先生が
十八日から四日間
小名浜で特別判断会を開く
政界、財界、藝能界の信望神の如き先生に一度あなたの運勢や幸不幸を見て貰うことは無駄ではあるまい。
◇場所　小名浜町渚廻り五一
長瀬印刷所

経費をかけずに良い品安く
スポーツシーズン
野球帽ユニホームグロブ
男女学童用運動着運動靴
旅行セツトボストン手提
レインコート雨靴、洋傘
男女子供服と婦セーター
毛糸カネボー群羊各色揃
カネボー一封度2000円
ブラウス学生服セーラ服
秋物服地と夜具地　入荷
夜具の手入……フトン綿
化粧品柳屋メヌマ
ジユジユパピリオ } 80円
菓子切手葉書印紙たばこ
ちどりフトン綿、夜具地
お買物には先づ平マーケツトを思出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています
皆様の店
平マーケツト
小名浜第二小学校前　電三九七
チケツト歓迎

新型强力モーター
明電舍の
各工業用
農事用に絶對信用のある
モーターの御相談には当店へ
長山電機商会
小名浜町本町五八　電一〇五

高級紳士服
服地は断然よくなりました
新調の服で御活躍を…………
中野洋服店
小名浜町船引場九

☆一流メーカー品販賣☆
誰もが驚く菅原の
＝大特賣靴＝
紳士・婦人靴 1,500円　運動靴 100円
婦人サンダル 200円　期間 5日～25日迄
小名浜町古港　菅原靴店

泉 小泉屋ニユース No. 4
三元式
堀井謄寫版
（附屬品）
鉄筆用原紙、タイプ原紙、ヤスリ各種、インク類、ローラ、絹布、修正液
小名濱町本町　電話122番

第三種郵便物認可　[illegible]　一部金3円（月曜休刊）　磐城日日　昭和28年（1953年）10月20日（火曜日）　第959號

日本油脂　亜炭精成から發火
工場と住宅など五棟全燒
過熱が因損害千三百万

十八日午後四時十分ごろ小名浜町長枕四八坂本善友さん方の日本油脂化學研究所石炭精成工場から出火、附屬工場及び住宅など五棟を全燒して全五時ごろ鎭火した

全日は北風が相當に強く工場內にあつた油類に火が燒え移り忽ちのうちに全工場百八十四坪を全燒坂本さん本宅及び附近の小名浜カトリック教會、全幼稚園　新役場廳舍工事現場、東北電力電業所、公民館、學校などが一時は危險に晒らされた

原因については小名浜地区署で調べているが、石炭精成工場の熔礦炉の過熱がらしく、損害は一千三百六十余萬円にのぼる見込み、なお坂本さんは留守中の出來ごとであつた

罹災者は次の通り

▼五十嵐榮三郎（五二）佐藤ます（七一）今泉芳惠（五二）黒澤德男（三七）さんらの四世帯である

赤い羽根え託鉢募金
小名佛教会

赤い羽根共同募金は中、高校生及び各種團体の協力によつて相當の好成績を擧げているが、今度小名浜町佛教會では更らに募金目標達成のため十九日町內の戸別訪問を行い赤い羽根共同募金の托鉢を行うことになつた

錦小施設を視察
好間のPTA

好間小學校PTA一行九名は十七日錦小学校に来校、学校施設、學校給食の情況　PTAの活動などを視察歸校したこの日は錦町より金成会長外十二名のPTA役員が案內した

県短歌大会開く
小名浜短研月例は延期

昨年小名浜で創立大會をやつた縣短歌会は十一月一日福島公民館で第二回縣短歌大會を次のごとく開催することになつた

一、とき＝十一月一日午前十時――三時

一、ところ＝福島公民館

一、會費五十圓

一、詠草一人一首葉書に限る（〆切十月二十五日）

一、送り先郡山市堂前カネツウ方福島縣歌人会

一、講演と選評近藤芳美

なお縣短歌会諸準備のため小名浜短歌研究會十月例会は延期することになつた

福島縣の文学
"拾遺和歌集"抄
伊勢富美子
高萩精玄

（二）

佐波古の湯（巻七物名）
讀人知らず

飽かずして別るゝ人の住む里は
さはこの見ゆる山の彼方か

（通釋）佐波古の御湯飽きも飽かれもしないで別れなければならないなつかしい人の住む里は、とゝから見えるあの山のかなたにあるのでございましようか。

（語釋）○佐波古の御湯――現在の湯本温泉といわれています。○物名――後述。さはどのみゆる山――さは一語で代名詞。それにあたります。故に意味はそれはとのみえる山となり、その中に「さはとのみゆ」が隠されているのであります。湯本温泉の案內記などに「佐波古の御湯の山のあなたか」と書いてあるのを見受けますが、これでは物名にはならなくて、平凡な歌となつてしまいます猶この「さはこのみ湯」は福島市近郊の飯坂温泉のことをいうとの說もあり

あかずして別れし人の住むといふ
ふるき佐波古はとの温泉（ゆ）なるかも

は、年若くして逝きし郷士の歌人諸根慶子の「みちのくの飯坂」を詠んだものであります。

（補）物名。ぶつみょう又はもののなと讀みます文字通り物の名稱という意味でありますが、和歌の分類の上から申しますと一つの歌の体で、題として與えられた物の名も同音異義のものとして、歌の中に詠みこむことになつております。同音異義にさえなつておれば、その物について全然關係のないものを詠んでもよいということになつております。このような歌は万葉集には見られず古今和歌集から初められたのであります。今この拾遺和歌集から例をとつて說明することに致しましよう

したゞみ

あづまにて養はれたる人の子は
したゞみてこそ物はいひけれ

これは、平安朝時代の東國人の言語主として話しぶりについての都の人たちの感じをいゝあらわしたものとして、よく例に引かれるものであります　この歌の題である「したゞみ」は、小さい卷き貝キシャコの異名であり、歌の中の「したゞみ」は動詞「したゞむ」の連用形で、ことばのなまるとをいつているのであります。時節柄も一つだけ例を擧げましよう。

あしびきの山下水に濡れにけり
その火先づたけ衣あぶらむ

題は「松茸」であります

（三）

陸奥國名取の郡黒塚という所に、重光が妹あまたありと聞きて、いひ遣はしける（巻九雜下）
平兼盛

陸奥の安達の原の黒塚に鬼こもれりと聞くはまことか

（通釋　みちのくの名取郡黒塚というところに源重之が、妹をたくさん召していると聞いて遣わした歌

陸奥の安達の原の黒塚に恐しい鬼がこもつていると聞いておりますがそれはほんとのことでしょうか。

冷害農家に義えん
縣食料事務所が主体で

予想外の凶作による農家の危急を救おうと縣食糧事務所全職員らが十五日給料の一部を零細農家救済にと義捐金を寄託したなお十八日には各地域ごとに街頭に進出して農家救濟の募金を行うことになり、石城支所職員五十七名は全日平市で行う

某職員談　われわれは常に農家の方々と接している關係で今年のような異例な大凶作による農家の窮狀も人一倍よく見ており、この救濟は吾々非農家の義務でもあり、責任でもあるので日常の生活を切り詰めてもと思つて當り前の事をやつただけです

みどり号植田方部巡回
廿一日から

縣のみどり号は來る二十一日より二十六日までの日程で植田方部を巡回、社会教育の一環として活躍する事になつた

巡回日程は次の通り

二十一日	渡辺村
二十二日	錦町
二十三日	川部村
二十四日	山田村
二十五日	田人村
二十六日	歸福の予定

このみどり號には映画（ヘ社会、教育に關するもの）生活と水、夕飼は樂し若い世代、天然色映画、農村の秋、小鳥と兎、ニユース映画、皇太子と戴冠式などである、また紙芝居、童話など盛澤山のプログラムで各町村の皆さんにプレゼントすることになつている多數の参觀者を各町村共に期待している

赤松俊子さんら
世界婦人大会報告
講演廿一日平公堂

世界婦人会代表報告会実行委員会主催の世界婦人大会代表歸國報告講演会は廿一日午後〇時三十分と午後五時から二回に互り平市公会堂日本間で開かれ「原爆の圖」作者の赤松俊子、縣職員組合婦人部長遠藤千枝子兩女史が講演することになつた

廿一日渡邊村議會開く

渡邊村議会は廿一日九時から開かれ

一、二十八年度追加予算

一、冷害對策の件

を上程審議する

川部小學で尊德祭

川部村小学校（校長伊藤伊佐次氏）では三十日同校校舍前に建立されている二宮尊德先生の昔を忍んで尊德祭を擧行することになつたこの日は同校演劇部による劇「二宮金次郎」を公開する

また今春より試作した一坪農業は全生徒が各部落毎に一坪の農業を經營しており生徒達の手によつて出來た大根、白菜は見事な生に振りで十四日伊藤校長が陣頭に各職員が方部別に巡回、生徒の汗に成つた一坪農業の經営情況を視察激勵したなおこの一坪農業は四年生以上で郡內では川部小学校だけだと云う

小名浜町民生委員会

小名浜町民生委員会定例会は二十日午前九時から公民館で開かれる

平共斗會議

平共斗会議は十九日午前十時三十分から平市炭勞会館で開く

ハツパで死亡（柿澤）

十八日午前八時四十分頃田人村田住鉱內の日本礦業KK柿の澤發電所隧道工事現場山田組　第二區第一隧道横坑四十四、六米の附近でハツパ作業中山田組勞務者塚本豊四郎さん（五六）日立市元山字熊ノ澤一七ノ二は逃げ遅れて即死した

また大友一郎さん（二八）多賀郡華川村小豆畑一六七九はひん死の重傷を負つて直ちに植田町櫛田病院に收容されたが十二時三十五分死去した

町民体育大會（植田）
賑やかに終る

植田町公民館主催の町民体育大会は十八日午前八時三十分より植田小學校グランドに於いて開幕この日は各部落対抗競技を初め婦人会の手踊り青年會のスクエアダンスなど盛澤山のプログラムが公開され盛大を極めた

天氣豫報　20

「本日」北の風晴れたりくもつたりで一時曇り勝ちでところにより時雨ましよう

「海上」風波が高く沖合の漁船は注意を要します

魚菜市況　19

「小名浜中央青果市場」鶏卵一三〜一四、八〇白菜六〜七六葱六〇〜一一〇甘諸四〇〜五七大根二五〜四二玉葱四二〜七〇里芋五〇〜六六人じん七〇〜一四五たまねぎ八〇〜八六馬鈴薯七五

「小名浜魚市場」いか一四〇〜四一〇かつお四八〇いしもち三〇〇ちば一五〇あじ二三〇小さば九〇どんこ一二〇のどぐろ四五〇はも二五〇くずえび五五〇たこ一三〇〜一五〇わらさ五六〇唐八四五小えび九七〇さんま一〇〇〜一二七黒子三七ぎす三七〇めた三〇〇

品質本位、新柄の店
樋口呉服店
小名浜町　電三〇四

出火御見舞御禮

十月十八日午後四時十分頃出火に際しましては早速御駈付け消火に御盡力下され且つ御鄭重なる御見舞を賜り誠に有難う御座いました御蔭をもつて住居は難を免れ被害を最少限度に止め得ました事を深く感謝致します
一々参上致して御禮申上ぐべき處混雜に取紛れ御尊名御伺ひ洩れもあることゝ存じますので略儀乍ら紙上をもつて厚く御禮申上げます

昭和廿八年十月十八日
小名濱町岡小名長枕
坂本義友

近火御見舞御禮

小名浜カトリック教会
小名浜白百合幼稚園
ジョーチ　タビオ

壽材木店
小名浜町君ヶ塚
電話四〇八番

土木建築請負
大平工業所
大平　貞

福島縣平保健所
小名浜支所

外科
內科
性病科
草野醫院
草野間道平
草野正
小名浜町中島（電話局隣）
電話小名浜九九番

文撰工
見習工（年令男女不問）
若干名
右募集す
長瀬印刷株式會社